



香美史探訪記

第53回 永瀬城跡と五輪塔 (香北町永瀬)

永瀬ダム下流の新神賀橋は、永瀬と猪野々を連絡しており、永瀬は、大比山中継所への永瀬林道の起点の集落である。

室町時代にこの集落を支配していたのは山本氏で、当主山本左衛門進が永瀬城を築いていた。永瀬林道を

左衛門進の奥方は、長宗我部の有力武将となっていた葦生郷侍大将の野中親孝の妹で、長宗我部地検帳には嫡男山本孫七が永瀬名で2町7



永瀬五輪堂

進み、尾根筋に出て大きくカーブする平坦地の北側の森に城跡がある。山本氏の氏神と城八幡宮、山本氏始祖夫婦の墓といわれるものがある。

猪野々の猪野氏が地頭を勤め、猪野々、永瀬、清爪を統括したようである。主君は、楠目の山田氏。土左遺語によれば、天文年間に、山田城主山田元義が長宗我部国親に攻められたとき、山田河内守が猪野々に逃れ、山本氏が7年間もかくまったという。その後、猪野氏が長宗我部に降り、河



永瀬城跡八幡宮

内守の処遇を横山や安芸の諸豪に相談したが協力を得られず、阿波海部郡(那賀町)に預けてひそかに帰国したという。

反余を認められ、土居ヤシキに居住していたとある。豊後戸次川の合戦に戦死した永瀬(山本)縫殿助は、一族であったであろう。

集落中央部上段の阿弥陀堂の境内に五輪塔がある。祀られているのは上部だけであるが、室町時代の五輪塔の一部である。戦国時代の塔や地藏菩薩石仏もあって、首から上の病気や不具合に効くといわれ、医療の恩恵に乏しかった時代は、参拝人を集めたという。小さな集落であるが、墓標供養塔の五輪塔は、一定の有力者の存在を示す。一

般の卒塔婆は木製であったとすると、城跡、五輪塔、土居ヤシキなどで、室町時代の末期には集落として発展し、歴史の古い地区と考えられる。(香美史談会)



料理の代表のレンドンは、牛肉などをココナツミルクと香辛料で長時間煮込んだ料理で、アメリカの放送局CNNが、2011年に



飛行機と車で約2時間です。パダン文化は豊かです。特にパダン料理は有名です。インドネシアは広いですが、どこに行ってもナシパダン(パダン料理)のレストランがあるほどです。パダン

私は縁あって香美市に来ました。パダンと香美市そして高知県との絆を大切にしたいと願っています。香美市の皆さん、どうぞよろしく。

今年10月にインドネシア・西スマトラのパダンから来ました。羽田空港に降りたとき、日本はすてきな国だなあと思いました。高知工科大学大学院博士後期課程基盤工学専攻の1年生で、コンピュータと人をつなぐ技術の改良について任

行ったインターネット人気投票『世界のごちそう50』の一つに選ばれたほどです。パダンの文化はミナンカバウ人の文化とも言えます。母系社会で土地財産は母から娘に継承します。宗教と政治は男の責任です。ミナンカバウ人は、西スマトラだけでなくインドネシア全地域、広く世界に住んでいます。ミナンカバウ文化の特徴を説明する言葉メランタウは、故郷から広い世界に羽ばたき仕事や勉強を頑張るといふ意味です。

ただいま留学中 ② ハンディティオ アウリア プトラ (インドネシア・パダン)

行ったインターネット人気投票『世界のごちそう50』の一つに選ばれたほどです。パダンの文化はミナンカバウ人の文化とも言えます。母系社会で土地財産は母から娘に継承します。宗教と政治は男の責任です。ミナンカバウ人は、西スマトラだけでなくインドネシア全地域、広く世界に住んでいます。ミナンカバウ文化の特徴を説明する言葉メランタウは、故郷から広い世界に羽ばたき仕事や勉強を頑張るといふ意味です。

掲示板

市民のひろば

◆体育会スキーツアー 参加者募集

【日程】 2月8日(土)～10日(月)
【行き先】 志賀高原スキー場
【宿泊先】 ホテル「志賀ロイヤルホテル」(丸池スキー場前)
【参加費】 約43000円 (リフト券3日間付)の予定です。

【募集人数】 40名(市内在住・在勤の方を優先)
※定員になり次第、キャンセル待ち
【締切】 1月10日(金) 17時
【問い合わせ・申込先】 香美市体育会スキー部・土佐山田スキークラブ ツアーコンダクター
笹岡 優
☎090・5141・4367
杉内茂春
☎090・4971・5219

おたんじょうびおめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

※◎は土佐山田町、●は香北町、○は物部町です。
申し込みは誕生月の前月1日まで。
問 総務課 ☎53-3112

まちの声

◆8月号の感想

広報香美は、一番身近な小冊子なので毎号楽しみに読んでいます。今月号のシベリア抑留の記事には胸が痛みました。私の実父も出征し、敗戦。そしてシベリアへ。ロシア人娘にほられた話のほかは多くを語りませんでした。極寒と飢えでの抑留生活は想像を絶するものだったでしょう。シベリアの地で倒れた戦友の分まで命を永らえ、86歳まで元気でいた。今は争いのないおだやかな世界でロシアの人とも笑いあっているのでしょうか。

◆9月号の感想
お祭りの写真は、みんなとても楽しそうで、来年は行ってみたいと思いました。



(山田高校マンガ部)

編集後記

▼特集『ありがたう やなせ先生』の取材・編集で、旧香北町の広報誌をめぐったり、当時の担当者から話を聞き、今まで知らなかった先生と香美市のつながりを知ることができ、勉強になりました。亡くなる94歳まで現役であられた、やなせ先生。長い間本当にお疲れさまでした。安らかに眠りください。(細木)